

自己評価票

自己評価は全部で100項目あります。

これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。

項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目(例えば、下記項目の や 等)から始めて下さい。

自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したのものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。

自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
・理念に基づく運営	22
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
・安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
・サービスの成果に関する項目	13
合計	100

記入方法

[取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

[取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に をつけます。

[取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

[特に力を入れている点・アピールしたい点] (アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目(1から 87)とサービスの成果(アウトカム)の項目(88から 100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名	サポート ピア花水木
(ユニット名)	はるか
所在地 (県・市町村名)	長崎県佐世保市
記入者名 (管理者)	大野佳代子
記入日	平成20年7月31日

地域密着型サービス評価の自己評価票

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

↑ 取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている		
	昨年は、理念の見直しを行いました。「ゆったりと楽しく、自由にありのままに、馴染みの環境で、地域と共に」をスローガンに掲げ、花水木独自の考え方を示しました。		
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる		
	毎月の会議をはじめ、管理者と職員は常に意見を交換する場を持ち、理念の共有や具体的な取り組みを確認する機会を持つように努めています。		
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる		
	運営推進会議を機に、地域の方々へホームのことを知って頂けるようになったと思います。理念の浸透が、ボランティアの参加や行事の参加などが少しずつ増えたことにつながっていると思います。		
2. 地域との支えあい			
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている		
	玄関周りに季節の花を、咲かせ、又週2回の八百屋さんが見えた際など、気軽に立ち寄っていただけるような環境作りに努めています。		
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている		
	ホームの行事、バザー、夏祭り、餅つき大会、など参加の声かけをしており、地域の方々との交流があります。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	<p>地域にすむデイサービス利用者に対し、徘徊があれば全スタッフが対応できるよう情報の共有を行っています。</p>		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>評価もスタッフ全員で取り組んでいます。目標を理解し、意識をもって評価を受け、改善すべき点は改善できるよう、良いところは更に良くなるよう、取り組んでいます。</p>		
8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>年間の行事計画を配布し、取り組みや情報はその都度報告しています。事業所も年数を重ね、またグループホーム内での開催は、現場の様子を見ていただく事にもつながり、意見の出しやすい場であると思います。</p>		
9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>地域密着型サービスに位置してから、市町村との関係が深くなったと感じます。事故報告などの状況を伝えることで、サービス向上につながる指導を受け入れやすくなったと感じています。</p>		
10	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>管理者は、左記の事業・制度に対する研修を受講しました。施設内では勉強会を開催しました。</p>		
11	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>勉強会、会議などで、高齢者虐待法防止関連法について学ぶ機会をもち、見過ごされることがないように努めています。職員間では、虐待についての意見交換が行われているようです。</p>		<p>雇用時の見極めや、ストレスを溜め込まない環境のあり方など、事業所として取り組んでいくよう努めています。</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入居時の説明は丁寧に行っており、理解を得ています。しかし、家族の意向は変化する場合があるので、都度十分に理解を得られるよう努力しています。</p>		
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>入居者の言葉を受け止め、それをアセスメントに活かすようにしています。早急に解決できるようならば、できる限り努力し、また、会議で意見を出し合うこともあります。</p>		
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>面会時・電話・手紙などを利用し、近況・金銭管理などの報告をしています。職員の異動・退職・雇用などについても報告を行っています。</p>		
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>面会時に気軽にご意見をいただけるよう声かけをしています。</p>		
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>本所で、各事業所の施設長会議が月1回開催されます。運営者の意向を聞く場であり、又、現場の声も反映させることが出来ています。続いてユニット会議で報告を受けています。職員の意見には、日頃から耳を傾けるよう努めています。</p>		
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>入居者の身体状況の変化もあり、ニーズや生活時間に合わせ、日中4人体制を採っています。入居者の状態やペースに合わせた勤務を取り、対応できるよう心掛けています。</p>		
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>事業所の移動などは、会社の方針で有り得ます。そのような場合は、入居者への配慮を充分行うよう努めています。</p>		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援				
19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	事業所外での勉強会、研修には交代で参加、受講できるようにしています。研修報告は、毎月の会議で発表してもらっています。内部研修は、年間計画を立て勉強会をしています。		
20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム連絡協議会による勉強会に参加。他事業所訪問などを行い交流の機会をもってサービスの質の向上に努めています。		
21	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	運営者は大変忙しいのだが年数回は訪れて職員に対して励ましやねぎらいの声かけをしてくださり、食事会を設けたり、今後は旅行の計画もあっています。		
22	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	職場の状況、変化を日報(メール)を出して把握。事業所点検を行い職場の環境整備、チームワーク、仕事の取り組みに対し社長賞を送るなど向上心をもって働けるよう努めています。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居前の面接を実施し、本人の意向や情報収集を行っています。		
24	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	見学の際に説明を行い、入居契約時ご家族の納得いく様、時間をかけて十分な説明をしています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談を受けたときあきがない場合はデイサービス利用、他事業所の紹介を行っています。		
26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人の意向はなく、ストレスも大きいので入居後にご家族の協力を得ながら職員との関係作り、に努めています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	お年寄りの長い人生経験を尊重し日々尊厳をもって関わりながら、皆さんとの喜怒哀楽を共有することで、スタッフも人生勉強をさせていただいています。		
28	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	ご本人に関わる様々な側面をありのままに共有していただくことで、一緒に本人を支えていけるよう努めています。		
29	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	ご本人・ご家族からの情報収集を行っています。面会の際には、困り事だけでなく、お互いの橋渡しとなるような、楽しいエピソードの提供に努めています。		
30	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族、親戚の方は、定期的に面会に見えますが、友人、知人になると、高齢であるため交流が途絶えている方が多いようです。		
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	関わりを拒否されず、好まれる方にはリビングでの交流を深めていただいておりますが、お一人で過ごされるのを好まれる方には声かけ程度で無理強いはしておりません		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	他の事業所へ移られた方にも利用者と一緒に遊びに行ったりしています。		
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	アセスメント、日頃の観察をじっくりすることで、状況を把握し、個性を大事に無理のない介護計画を作成しています。		
34	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時の本人様やご家族様からの情報を共有することで、これまでの生活歴などを把握した上で日頃のケアに生かしています。		
35	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	申し送り、個人記録、日誌などで情報収集を行い、把握するように努めています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	アセスメントは職員全体で行ってケアプランは毎月おこなっているケアプラン会議で意見交換、アイデア等を出し合って作成して、モニタリングは毎月行っている。		
37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	1ヶ月ごとに評価を行い変化や、見直しが必要でないか検討している。気づきを評価に記入することで次回のケアプラン作成につなげている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケアプランに挙げた事項は、番号を付けケアプラン実施状況欄に記入することにより、無理のない計画で実行出来るかどうか把握し次回のプランに生かしていると思います。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	スタッフの付き添いが必要な方に関して、人手不足もありません。		行事を把握し、入浴日の設定を行い付き添いの必要な方の参加ができるように支援していきたいと思います。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	藤原2組の町内会に入会しています。各役員さんへの定期的な訪問を行っています。また行事の際にはボランティア協会や警察、消防への声かけ、必要に応じて協力、支援をいただけるよう努めています。		
41	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	整骨院のマッサージ、ビューティヘルパーさんによる理美容、お話しボランティアなどの支援を受けられています。		
42	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	地域包括支援センターとは現在利用者の紹介があるくらいです。		今後活用できるよう情報交換をしたい。
43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居後は嘱託医へ変更していただいていたのですが、利用前からのかかりつけ医での医療を受けられるよう、ご家族と協力し通院介助を行っています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	在宅医療に力をいれておられる嘱託医です。日常的な状況報告を始め、何でも気軽に相談でき、急変時の連絡にも指示、対処して頂いてます。		
45	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	往診、受診の際は日常的な状況報告も気軽に相談できるような関係作りが築けています。		
46	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	長期入院が認知症を進行させるため、状況が改善次第、退院できるように家族とも話し合いの上、ドクターとの話し合いを行うようにしています。		
47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	ご本人や家族の状況に応じてできるだけ早い段階から医療機関と繰り返し話し合い、方針を共有するよう努めています。		
48	重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	家族の意向もありますが、本人の気持ちを大事に主治医家族と今後の対応を話し合っています。急変時は医療機関と連絡をとりすぐに対応している。		
49	住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	他の施設へ移られる場合はケアプランや、支援状況、情報交換を行い、ケアの継続が出来るよう連携に努めています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1) 一人ひとりの尊重			
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>おむつ交換、トイレ誘導時、プライバシー確保でしっかりドアを閉めケアし、言葉使いにも充分気をつけています。記録などは名前など見られないよう置く場所にも配慮しています。</p>	
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>飲食物など、個人の好きな物を好きなだけ提供したいところですが、糖尿病・高血圧症など疾患のあられる方には、我慢して頂いていることもあります。</p>	<p>単に我慢を強いるのではなく、理解を頂くような声掛け、ご本人様の希望とスタッフの意見を折り合いを付けていくよう、取り組みたいと思います。</p>
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>一人ひとりのペースを理解し、一日をゆったり過ごせる方は好きなようにして頂いています。また、関わりを多く必要とされる方には、ゆったりとした流れを心掛けながらも、スタッフの都合を優先する場合があります。</p>	<p>希望に添ったケアをしているとはいえませんが、添えない時は、代替えのケアを提供しています。すべてを聞き入れることが良いことではないのでアセスメントを通じて何がその人にとって良いのか思案しています。</p>
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>ご本人様のなじみの店がある方は、スタッフがお連れしています。</p>	
54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>食材切り・野菜の皮むきなどは大変上手で、手早く手伝って頂いています。スタッフが忙しくしている時は、自ら食器洗いなどもして下さっています。</p>	
55	<p>本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	<p>タバコは禁煙となっています。お正月などはお酒を飲んでいただき、他はご本人様の嗜好をお聞きして提供できています。</p>	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	<p>気持よい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>	<p>個人の排泄パターンを把握し、また声掛け介助に拒否のある方は動きを察知して、トイレで気持ちよく排泄できるよう支援に努めています。失敗された場合も、言葉遣いに注意し清潔と安心を保って頂ける様努めています。</p>		
57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>ご本人様の意思を確認して、週2回、人によっては週1回入浴していただきます。入浴できないときは清拭を行っています。拒否がある方は足浴をして頂いて無理には勧めません。拒否の強い方はタイミングをみて入浴出来るよう支援しています。</p>		
58	<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々々の状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>	<p>起床時間・睡眠時間などご本人様のリズムに沿った生活パターンで過ごして頂いています。夜間不眠のときは午前中休息を取って頂くなど声かけを行っています。</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>一人ひとりの生活歴に合った炊事・洗濯などの力を活かしています。</p>		<p>楽しみごと、気晴らしの支援はマンツーマンでの対応を求める方もいます。満足がいかがぬ場合は機嫌の悪さで表現する方もある為、じっくりと対応し、より信頼関係を築けるよう取り組みたいと思います。</p>
60	<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>財布を所持を所持する方がおられますが、財布の置き場所を忘れられるので、度々金額も併せて確認しています。週2回野菜屋さんが見えたとき、本人様の所持金の中からお饅頭、果物など購入買い物を楽しまれています。</p>		
61	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>新しい入居者や、介護度の高い方もおられ、限られたスタッフでは外出支援が出来ない状況ですが、近所への散歩、買い物は支援しています。</p>		
62	<p>普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p>	<p>行事として5月末には石岳動物園に3名の方が出かけられ、奥様も一緒に参加されて大変喜ばれました。</p>		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	新しい入居者の方は特に帰宅願望があり、直接家族と電話をしていただいたり内線でスタッフが対応して、本人様の不安を和らげています。		
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	新しく入居された方の奥様は、ほぼ毎週水曜日に面会に見えお弁当持参で4～5時間御主人と過ごされます。お互いに穏やかな時を過ごされているように思います。		
(4)安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	度々の見守りをする事により、拘束をしないケアを実践していますが転倒などで打撲されることもあります。事故報告などでスタッフ間の反省に心掛けています。		
66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	入り口がロック式のドアになっており、勝手に出ることが出来ませんが一人で外へ出る危険性を家族の方との話し合いで理解していただきストレスがたまらぬようにお年よりの希望に応じて引率のもと外出の機会をもてるようにしています。		
67	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	日中、居室を訪室するときは挨拶を心がけ、夜間は安否確認を行うこととお話して訪室を行っています。外出願望のあるときは所在確認、見守りの強化を行っています。		
68	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	包丁、はさみ、などは利用者の目の届かないところ所へ保管していますが、個人で保管できる方危険性のない方は使用されています。		
69	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	ヒヤリハットの記入を行い、未然に防げるよう、状況把握出来るように、事故防止に努めています。定期的に避難訓練を行っています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	急変、緊急時の勉強会を行い、変化を見逃さないように心がけている。		新人スタッフがいるため緊急時、対応できるよう定期的に勉強会を行っています。
71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	地域の役員の方へ訓練の日をお知らせして、定期的に避難訓練をおこなっています。又警備会社と契約しており警備会社への通報によりすぐに駆けつけ協力が得られるようになっています。		
72	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	心身状況の変化がある場合は、リスクについてもケアプランにあがってくるので、家族への説明も行い、家族からの意見も聞くようにしています。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	細かい変化も見逃さず、記録に残し情報を共有し早期発見に心がけている。		
74	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬管理方法を新たに見直しました。誤薬のないよう努め、処方箋も、使用上の注意や副作用も確認するようにしています。症状の変化は医師に上申、記録に残すようにしています。		
75	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	繊維の多い食材を取り入れたメニューを心がけています。散歩、家事活動などで体を動かしていただくよう機会を作っています。状態により下剤の調整を行っています。		
76	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	食後は口腔ケアの声かけ、自力で出来るところまでは自信に行っていたり出来ないところは介助を行っています。夕食後は確実に義歯を預かり週2回ポリデント消毒を実施しています。必要な方は歯科医による口腔チェックをお願いしています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個人記録に一日の摂取量を詳細に記入し、一人一人の状態の把握に努めています。夜間の水分補給もこまめに行うよう心がけています。		
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染対応マニュアルを作成しています。年1回の勉強会実施や、日々の手洗い・うがいなども職員・入居者共に徹底実施しています。来訪者には、玄関での手指消毒をお願いしています。		
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	ハイター消毒、食器乾燥機の使用、天火干しなど衛生面に注意し、週4回の買い物で新鮮な食材を使用するよう又買い物日は冷蔵庫の食材の残り点検を行つています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	四季折々の花を植え玄関ロビーもスペースを取りご家族や近隣の方々が親しみやすいよう、安心して出入りが出来るようしています。		
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	廊下に入居者の作品の掲示、スタッフ手作りの作品で季節感を味わって頂いています。		
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングの横に和室があり、ソファーに座り、気のあった方々でお話をして過ごされています。本を読まれる方もいらっしゃいます。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅より、持ち込まれた家具、寝具に囲まれて、なじみの環境で生活して頂いています。		
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	空調は、外気温との差がないくらいの温度に設定しています。換気にも気をつけて湿度も気をつけています。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室、廊下、浴室、トイレには手すりを設置、自立生活を支援しています。		
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	混乱や、失敗があった時は個別に対応、側につき落ち着いていただいています。		
87	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	玄関周りの花の水遣りをしたり、玄関のベンチにすわり日向ぼっこをしています。洗濯物ほしは、屋上ベランダに干すなどして楽しみながらできています。		

サービスの成果に関する項目

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の	
		利用者の2/3くらいの	
		利用者の1/3くらいの	
		ほとんど掴んでいない	
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある	
		数日に1回程度ある	
		たまにある	
		ほとんどない	
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と	
		家族の2/3くらいと	
		家族の1/3くらいと	
		ほとんどできていない	

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように	
		数日に1回程度	
		たまに	
		ほとんどない	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている	
		少しずつ増えている	
		あまり増えていない	
		全くいない	
98	職員は、生き生きと働いている	ほぼ全ての職員が	
		職員の2/3くらいが	
		職員の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が	
		家族等の2/3くらいが	
		家族等の1/3くらいが	
		ほとんどできていない	

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

今年度は、入退居者が相次ぎ、環境の変化に戸惑いを見せられた方もいらっしゃいました。しばらくは居室にこもり、「誰なの、あの人は？」と困惑された様子も見られましたが、スタッフの努力もあり、時間を共有していただく事で、馴染んで頂けました。ご本人様のペースに合わせた自由な生活を支援できるよう、今後も努力します。